

第2次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度評価について

1 趣 旨

第2次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略を検証し着実な実現を図るため、その進捗状況について評価を実施した。

また、令和5年度評価においては、第3次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第3次総合戦略」という。）の策定に向けて、現総合戦略に位置付けているKPIや取り組みを見直し、今後の方向性を示した。

2 対 象

第2次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けている4つの基本目標に基づく基本指標、12の基本施策に基づくKPI及び取り組み

3 基準日

令和6年3月31日

※事業のKPIの最終目標に対する見込み値については、令和7年3月31日現在の予測値もしくは令和6年6月1日現在の実績値

4 実施概要

- ① 第2次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度～令和6年度）に位置付けている基本指標に関する進捗状況の評価
- ② 事業のKPIに関する進捗状況の評価（令和5年度及び令和6年度見込み）
- ③ これまでの取り組み（令和2～5年度）の評価
- ④ 今後の取り組み予定の検証（令和6年度）
- ⑤ 第3次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けた方向性の検討

5 「第2次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けている基本指標」の進捗状況（全10項目）

評価	評価基準(令和6年度の目標値に対して)	該当項目数 ()内は前年度
◎	100%以上達成見込み	5 (未実施)
○	75%以上達成見込み	2 (未実施)
▲	75%未満の達成見込み	3 (未実施)
—	評価不能	0 (未実施)

※基本指標の進捗状況評価は例年実施していないが、令和5年度評価においては第3次総合戦略の策定に向けて評価を実施した。

評価を踏まえた各基本指標の今後の方向性（全10項目）

評価	貢献度	説明	該当数
上方修正により目標継続	目標達成	今後も効果が期待できるため、引き続き本目標を継続	6
達成により他目標を検討		一定の効果を発揮したが、より効果の高い目標が設定可能なため、他目標に刷新	0
達成により目標終了		一定の効果を発揮したが、今後は効果の逡減が予想されるため、本目標を終了	0
下方修正又は数値維持により目標を継続（一部上方修正）	目標未達成	目標値の設定と実績に乖離があるが、今後も効果が期待できるため、引き続き本目標を継続	4
情勢変化により他目標を検討		より効果の高い目標を設定可能なため、他取組に刷新	0
情勢変化により目標終了		今後は効果の逡減が予想されるため、本目標を終了	0

<総括>

- ・第3次総合戦略の策定に向け、4つの基本目標に位置付けている基本指標の進捗状況を確認したところ、最終目標に対する達成率が75%未満である「▲」評価が全体の30%となった。
- ・第3次総合戦略における基本指標の設定については、以下を基本に検討する。
 - 「◎」評価：目標値の上方修正を基本として、第3次総合戦略へ継承
 - 「○」評価：目標値維持を基本として、第3次総合戦略へ継承
 - 「▲」評価：目標値の目標値維持または下方修正により第3次総合戦略へ継承

6 「第2次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けている事業のKPI」の進捗状況（全30項目）

評価	評価基準(令和6年度の目標値に対して)	該当項目数 ()内は前年度
◎	100%以上達成見込み	9 (10)
○	75%以上達成見込み	8 (5)
▲	75%未満の達成見込み	13 (15)
—	評価不能	0 (0)

評価を踏まえた各KPIの今後の方向性（全30項目）

評価	貢献度	説明	該当数
上方修正により目標継続	目標達成	今後も効果が期待できるため、引き続き本目標を継続	3
達成により他目標を検討		一定の効果を発揮したが、より効果の高い目標が設定可能なため、他目標に刷新	0
達成により目標終了		一定の効果を発揮したが、今後は効果の逓減が予想されるため、本目標を終了	2
下方修正又は数値維持により目標を継続	目標未達成	目標値の設定と実績に乖離があるが、今後も効果が期待できるため、引き続き本目標を継続	20
情勢変化により他目標を検討		より効果の高い目標を設定可能なため、他取組に刷新	3
情勢変化により目標終了		今後は効果の逓減が予想されるため、本目標を終了	2

<総括>

- ・計画期間中は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたこともあり、最終目標に対する達成率が75%未満である「▲」評価が全体の約43%となった。
- ・第3次総合戦略におけるKPIの設定については、基本指標の設定と同様に検討する。

7 「これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）」の評価（全78項目）

評価	評価基準（取組予定に対して）	該当項目数（）内は前年度
◎	取組内容が順調に実施されている。	24（17）
○	取組内容が概ね順調に進んでいる。	48（56）
▲	取組内容が遅れている。	6（5）

評価を踏まえた各取り組みの今後の方向性（全78項目）

評価	貢献度	説明	該当数
A1	期待どおりの成果を上げた	今後も効果が期待できるため、引き続き本取組を継続	45
A2		一定の効果を発揮したが、より効果の高い取組が設定可能なため、他取組に刷新	2
A3		一定の効果を発揮したが、今後は効果の逓減が予想されるため、本取組を終了	0
B1	期待どおりの成果に至らなかった	粘り強く続けるべき取組であるため継続	29
B2		より効果の高い取組を設定可能なため、他取組に刷新	0
B3		今後は効果の逓減が予想されるため、本取組を終了	2

＜総括＞

- ・「◎」及び「○」が全体の約92%という結果であり、取り組み自体は概ね順調に進められている。
- ・KPI評価との乖離が生じているが、計画期間中に新型コロナウイルスの影響を受けつつも可能な範囲で改善・工夫したことを評価したことによる。
- ・現在の取り組み全78項目のうち、「A1」「B1」評価となった74項目（約95%）は、実施内容を見直したうえで第3次総合戦略へ継承する。

8 第3次総合戦略について

第2次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間中、新型コロナウイルス感染症の影響等を受けたこともあり、十分に効果が発揮できなかった取り組みが散見される。

同時に社会情勢も大きく変化したことから、第3次総合戦略においては現総合戦略の内容を継承しつつ、社会情勢に合わせた適切な基本指標、KPI 及び取り組みを再設定する。

また、デジタル技術の活用により地方創生を目指す、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の趣旨を勘案し、市としても可能な限りデジタル技術を活用した取り組みを位置付けていくものとする。